

東京都の騒音防止条例の改変

東京都は、騒音防止を定めた「環境確保条例」について、現在は規制対象となっている「子供の声」を除外する方針です。現在すでに「子供の声」で被害を受けている人にとっては「改悪」となるとの指摘もあると YAHOO ニュースには書かれています。私たち池田山住環境協議会が夢工房に反対する理由は必ずしも騒音問題ではありませんが、東京都として保育所建設を推進するためにキャンペーンを行っているとしたら他人事ではありません。ドイツでは子どもの声は騒音とされないそうですが、騒音問題には日本の特殊事情もあるという意見をご紹介します。

こちらの保育園も幼稚園も、それはそれは静かですよ。集合住宅の真ん中や、新興住宅地に幾つも建ってますけど、ちゃんと園庭もあるし、けっこうたくさん子供が通っているのに、信じられないくらい静か。したがって、住民の苦情もゼロ。初めてその現状を知った時は、本当に不思議でしたが、自分の子供が園に通うようになって、いろいろ気付いたことがあります。第一に、先生の喋り方が物静か。若い先生でも、頭の天辺からスットンキョウな声を出すようなことは絶対にない。子供番組からして、声のトーンが全然違う。たとえば、私が子供の頃の子供番組といえば、「ピンポンパン」や「おかあさんといっしょ」だったのですが、この時、「せんせい」だった、うつみ宮土理さんも語り口調はまるでNHKの静けさだった。

「子どもの声は騒音？」テレビ取材

☆NHK「おはよう日本」「クローズアップ現代」

「おはよう日本（9日放送）」で池田山内の垂れ幕が無断でイメージ使用され、また目黒区の夢工房保育園が、近隣住民によく配慮している好例として紹介されました。まず無断使用について抗議したところ、プロデューサー以下説明に見えましたが、私たちがあきれたのは、良い例として夢工房を選んだのは、住民とトラブルを起こした保育園経営者にコンサル（助言）する会社から紹介されたからだそうです。問題ない事業者は行くはずもないところです。もっと地域にとけ込んでいる保育園があるのにと苦言したところ、同じ記者が取材した「クローズアップ現代（29日放送）」では、さすがに他所の事例を紹介していました。

☆フジTV「とくダネ！」

10月27日放送の「とくダネ！」から取材を受けました。事前にきちんと私たちの反対理由を説明できましたので、番組内では、池田山は通園による交通事故の不安を抱えていること、夢工房が住民に対しての説明を怠っていることをお話しできました。しかし品川区の保育行政の怠慢、夢工房の不適切な蓄財の追及については、また時をあらためてということになっています。

その他のメディアからも問い合わせは来ていますが、私たちの意図が誤解されないよう、必ず住環境協議会のホームページを読んでから取材するようお願いしています。また今や、品川区と夢工房はメディアからの問い合わせに対して、取材拒否の状態です。反対理由が騒音問題でないことが明らかになってしまうと困るからでしょうか。

*常時最近の動きをホームページで紹介しております。お読みいただけましたら有り難いです。

池田山住環境協議会 現会員数 593 名（正会員 363 名、賛助会員 230 名）

事務局：東京都品川区東五反田 5-25-19 tel (03)3445-1004

<http://www.ikedayama-council.com>